

前田  
05.5.11  
特許

# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備審査報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）  
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 M03-MT355CT1	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2004/003694	国際出願日 (日.月.年) 18.03.2004	優先日 (日.月.年) 13.05.2003	
国際特許分類(IPC) Int.Cl' G11B20/14, H03M7/14, H04L25/49			
出願人（氏名又は名称） 松下電器産業株式会社			

1. この報告書は、PCT36条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>4</u> ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>6</u> ページである。 <input checked="" type="checkbox"/> 捕正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照） <input type="checkbox"/> 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた捕正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙 b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータを含む。（実施細則第802号参照）
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
<input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第II欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input checked="" type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT36条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文獻及び説明 <input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 21.01.2005	国際予備審査報告を作成した日 19.04.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁(I.P.E.A./J.P.) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 小林 大介	5Q 9848
	電話番号 03-3581-1101 内線 3591	

様式PCT/I.P.E.A./409（表紙）（2004年1月）

## 特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/003694

## 第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

この報告は、\_\_\_\_\_語による翻訳文を基礎とした。  
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。  
 PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査  
 PCT規則12.4にいう国際公開  
 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

出願時の国際出願書類

明細書

第1-23 ページ、出願時に提出されたもの  
第\_\_\_\_\_ ページ、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの  
第\_\_\_\_\_ ページ、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

請求の範囲

第1-7, 10-11, 15-19, 21 項、出願時に提出されたもの  
第\_\_\_\_\_ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
第9, 13-14, 22-26 項、21.01.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの  
第\_\_\_\_\_ 項、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

図面

第1-19 ページ/図、出願時に提出されたもの  
第\_\_\_\_\_ ページ/図、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの  
第\_\_\_\_\_ ページ/図、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3.  指定により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第_____	ページ
<input checked="" type="checkbox"/> 請求の範囲	第8, 12, 20	項
<input type="checkbox"/> 図面	第_____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表(具体的に記載すること)		
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル(具体的に記載すること)		

4.  この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における顯示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

<input type="checkbox"/> 明細書	第_____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第_____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第_____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表(具体的に記載すること)		
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル(具体的に記載すること)		

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

## 第IV欄 発明の單一性の欠如

1. 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出願人は、
  - 請求の範囲を減縮した。
  - 追加手数料を納付した。
  - 追加手数料の納付と共に異議を申立てた。
  - 請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかつた。
2.  国際予審査機関は、次の理由により発明の單一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。
3. 国際予審査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の單一性を次のように判断する。
  - 満足する。
  - 以下の理由により満足しない。

請求の範囲1-21に共通の事項は、DSVまたは直流成分を抑制するため  
に、複数の候補変調コードの中から所望の変調コードを選択する構成である。

しかし、この構成は文献1に開示されているから新規ではない。したがって、  
この構成は先行技術の域を出ないから、PCT規則13.2の第2文の意味において特別な技術的特徴ではない。

PCT規則13.2の第2文の意味において特別な技術的特徴と考えられる他の  
共通の事項は存在しないので、それらの相違する発明の間にPCT規則13.2の  
意味における技術的な関連を見いだすことはできない。

文献1：JP 64-005229 A  
(日本電気ホームエレクトロニクス株式会社), 1989.01.10

4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。

すべての部分

請求の範囲 \_\_\_\_\_

に対する部分